

第 33 回 神奈川県移動性（モビリティ）向上委員会 議事要旨

1. 日 時：令和 8 年 3 月 2 日（月） 13:00~14:30
2. 場 所：よこはま新港合同庁舎 4F 共用会議室（一部 WEB 会議）
3. 要 旨：

- 令和 7 年度における主要渋滞箇所の見直し（解除）について了承された。
- 観光地における交通状況分析について報告した。
- TDM 実施モデル箇所の取組状況について報告した。
- 最新の取組状況の紹介について報告した。

4. 議 事：

（1）委員会の検討経緯と論点について

- 意見無し。

（2）令和 7 年度における主要渋滞箇所の見直し（解除）について

- （仮称）芙蓉カントリー倶楽部前交差点を主要渋滞箇所から解除することが了承された。
【意見】大師河原交差点の方向③において、右折車両の滞留は直進車線まで達している状況か。（委員長）
【回答】現地確認の結果、右折滞留は直進車線まで至っていない。（事務局）

（3）観光地における交通状況分析について

- 【意見】平日とGWにおける国道 134 号下り（西行）の交通量比較について、もう少し上流側など、他の観測地点での比較は実施しているか。（委員長）
【回答】茅ヶ崎側の観測地点にて同様の比較を行っており、当該地点においても、資料に掲載している地点と同様の傾向であることを確認している。（事務局）
- 【意見】今後の対応方針として、駐車場周辺におけるうろつき交通の分析、携帯電話位置情報を活用した人流データ分析などを実施する予定か。（相武国道事務所）
【回答】人流データの分析は資料内に掲載している通りである。予算次第ではあるが、鎌倉市から具体的な要望があった際は、適宜対応を検討する方針である。（事務局）
- 【意見】全ての対象エリアについて分析が完了した場合、今後どのような展開を想定しているか。（委員長）
【回答】必要に応じ、蓄積した分析結果を自治体へ提供し、具体的な対策検討等に活用する方針である。（事務局）

(4) TDM実施モデル箇所の取組状況について

【意見】大涌谷駐車場の入庫待ち車列が、通過交通やバス等へ悪影響を及ぼすことは問題視すべき点である。駐車場回転率の向上のために更なる駐車料金の工夫や、バスと一般車の通行帯を区分するなど、引き続き様々な対策を講じる必要があると考える。(委員長)

(5) 最新の取組状況の紹介について

【意見】GREEN×EXPOに関して、予約制等、入退場時刻分散を目的とした施策は何か検討されているか。(委員長)

【回答】駐車場、シャトルバスの利用を予約制にすることで、時間分散を促す想定である。会場自体の時間予約制は検討中である。(GREEN×EXPO 協会)

その他

- 意見無し。

以上